



証券コード：9265

平成31年（2019年）5月期 第2四半期決算概要

※第2四半期連結累計期間：平成30年（2018年）6月1日～同11月30日

平成31年（2019年）1月7日発表



会社概要

会社名	ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社
本社所在地	福岡県福岡市中央区渡辺通3-6-15 NMF天神南ビル6階
資本金	4億9,402万5,000円
事業内容	医療機器および関連商材の販売を主とするグループ事業 会社の経営管理、及びそれに付帯する業務
代表者	代表取締役社長 山下尚登
上場市場	東証一部
証券コード	9265
決算期	5月

第2四半期業績

連結損益計算書

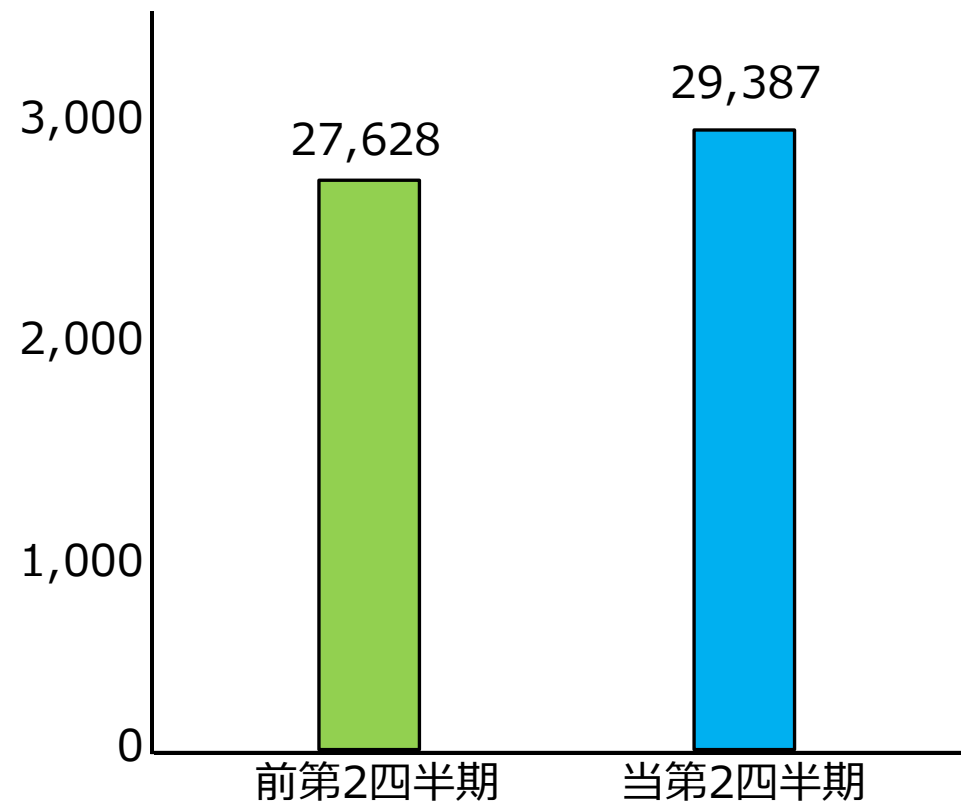
(単位：百万円)

	前 第2四半期 連結累計期間	当 第2四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	27,628	29,387	1,759	106.4
営業利益	△36	161	198	—
経常利益	13	202	188	1497.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19	87	67	450.1

※当社は、平成29年(2017年)12月1日に単独株式移転により山下医科器械株式会社の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、本資料において前年同四半期と比較を行っている項目につきましては、山下医科器械株式会社の平成30年(2018年)5月期第2四半期連結累計期間 平成29年(2017年)6月1日から平成29年(2017年)11月30日までと比較しております。

売上高

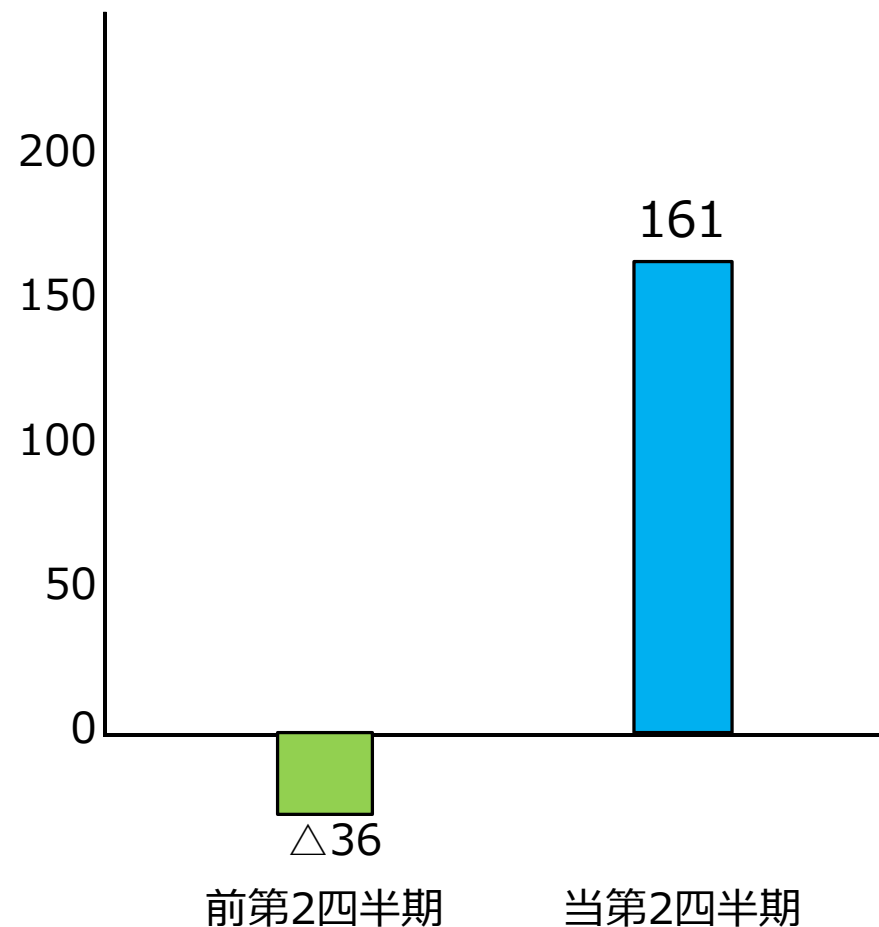
単位：百万円



※いずれも連結累計期間

営業利益

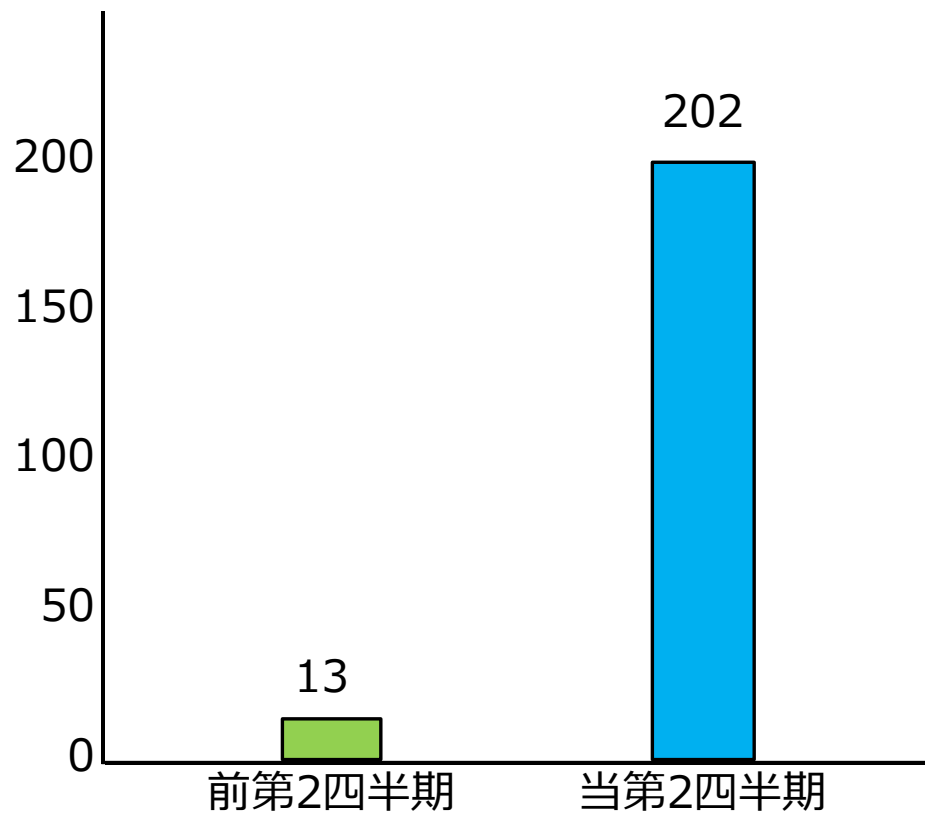
単位：百万円



※いずれも連結累計期間

経常利益

単位：百万円

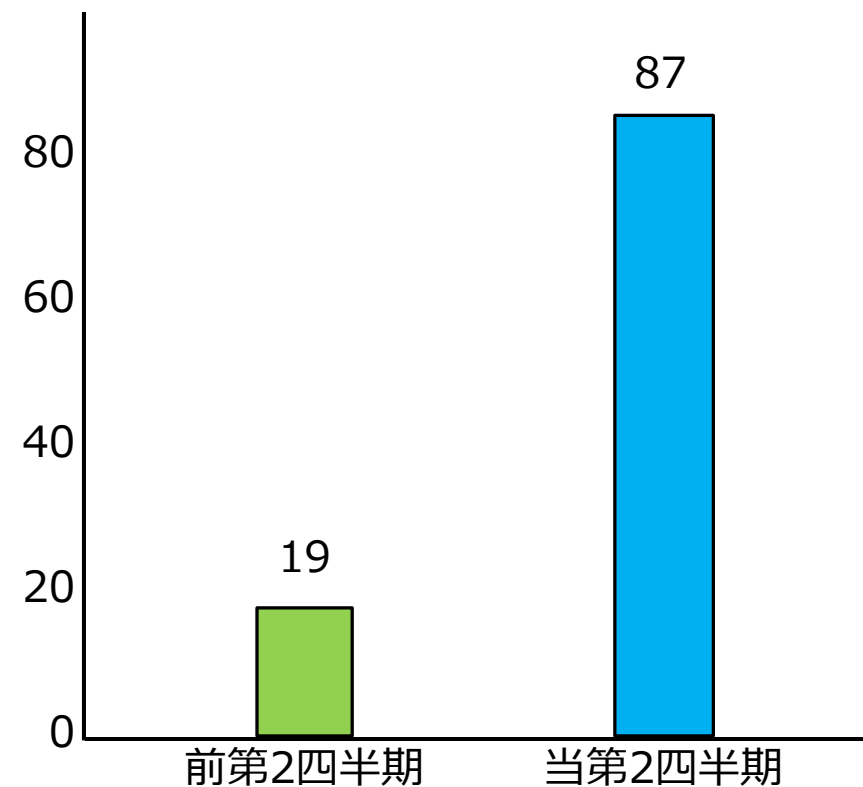


※いずれも連結累計期間

親会社株主に帰属する

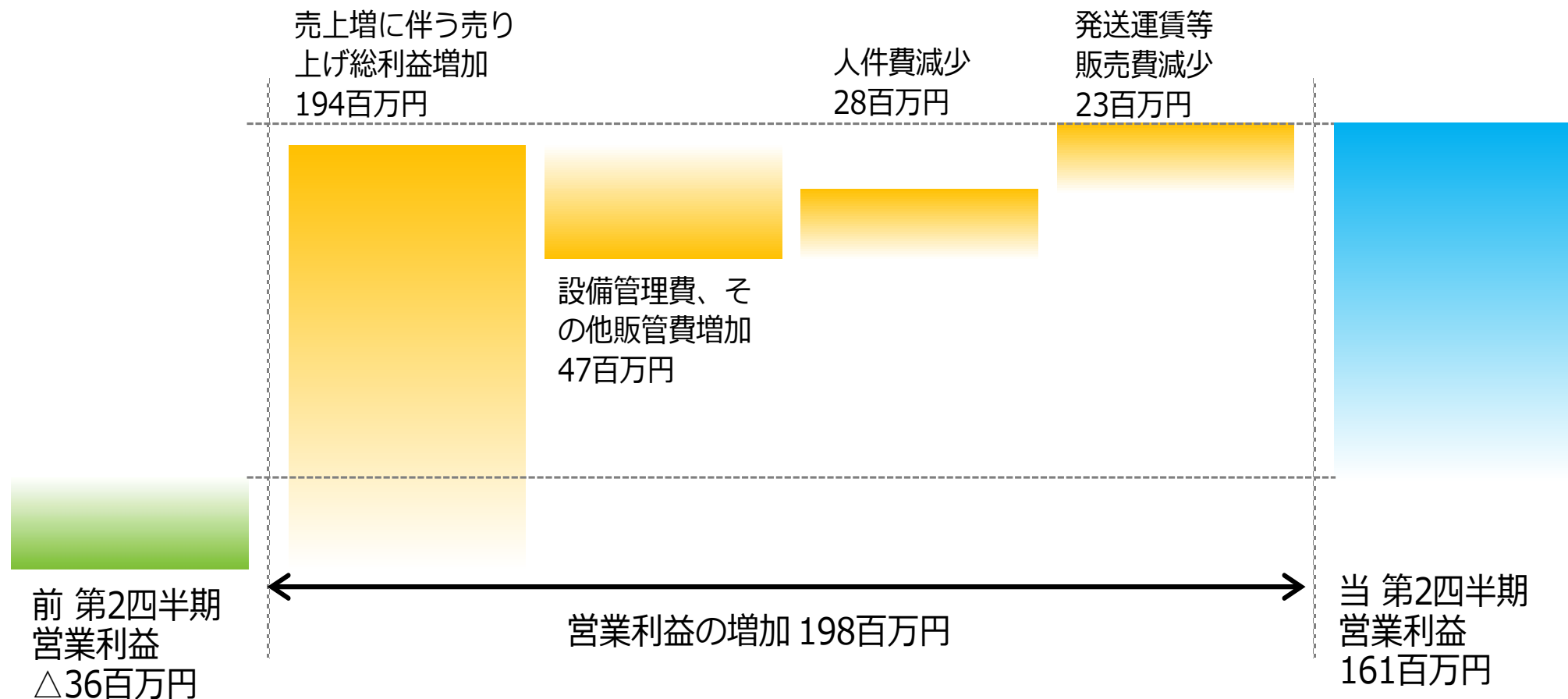
四半期純利益

単位：百万円



※いずれも連結累計期間

営業利益の増加の要因



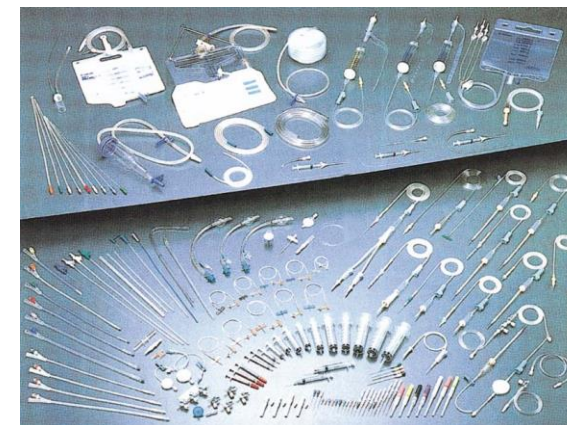
経営成績の分析①

当社グループ中核事業である医療機器販売業は、顧客である医療機関に対し、医療材料管理の効率化やコスト削減等の提案型営業を積極的に行うなど、地域市場での競争力強化を図っております。

市場拡大が見込まれる医療IT分野では、電子カルテ等の医療情報システム構築支援のほか、合併事業である医科向け会員ネットワーク（E P A R K）の普及拡大に取り組んでおります。また、平成30年（2018年）6月に物流部門を統括するM A L

（Medical Active Logistics）事業部を新設し、S P D事業の推進と収益性の向上及び物流センターとS P Dセンターの連携強化による物流の効率化、コスト削減を図っております。

医療機器製造・販売業におきましては、整形インプラント事業の更なる成長を図るため、台湾の医療機器メーカーと協力し、手術器械の単回使用化への取り組みに着手しております。



経営成績の分析②

当第2四半期連結累計期間における売上高は293億87百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。利益面では、売上増加に伴う売上総利益の増加や、物流効率化による販売費及び一般管理費の抑制等により、営業利益は1億61百万円（前年同四半期は36百万円の営業損失）、経常利益は2億2百万円（前年同四半期比1,397.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は87百万円（前年同四半期比350.1%増）となりました。

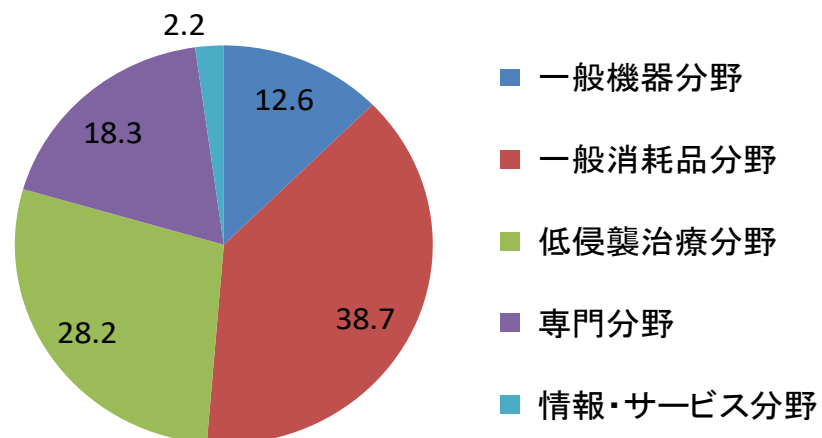


セグメント情報①医療機器販売業

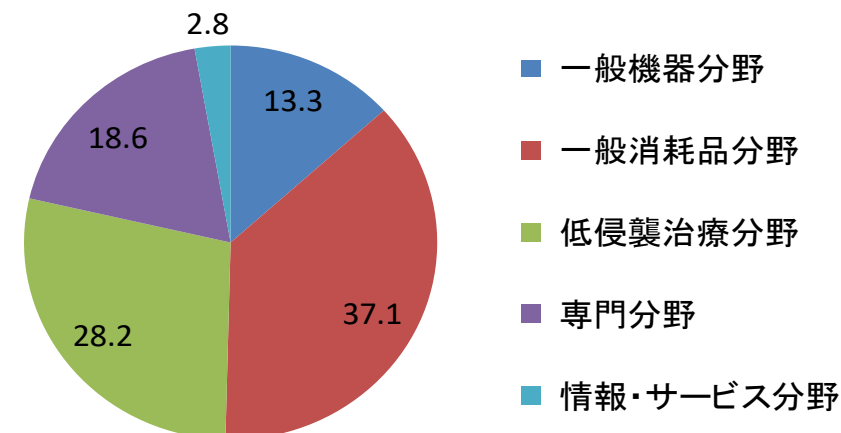
(単位：百万円)

区分	前 第2四半期連結累計期間		当 第2四半期連結累計期間		増減額	前年同期比 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
一般機器分野	3,455	12.6	3,868	13.3	413	112.0
一般消耗品分野	10,618	38.7	10,860	37.1	241	102.3
低侵襲治療分野	7,756	28.2	8,222	28.2	465	106.0
専門分野	5,023	18.3	5,438	18.6	414	108.3
情報・サービス分野	612	2.2	803	2.8	190	131.1
小計	27,467	100.0	29,193	100.0	1,726	106.3

前 第2四半期連結累計期間 構成比



当 第2四半期連結累計期間 構成比



セグメント情報①医療機器販売業

【一般機器分野】

生体情報モニタリングシステムや手術用顕微鏡等の医療機器備品、C T、M R I 等の放射線機器の売上増加により38億68百万円（前年同四半期比12.0%増）

【一般消耗品分野】

S P D 契約施設における医療機器消耗品の売上増加により108億60百万円（前年同四半期比2.3%増）

【低侵襲治療分野】

腹腔鏡システム等のサージカル備品や、I V E（内視鏡処置用医療材料）等の売上増加により82億22百万円（前年同四半期比6.0%増）

【専門分野】（整形、理化学、眼科、皮膚・形成、透析により構成）

人工関節や骨折治療材料等の整形消耗品、眼底撮影装置等の眼科備品の売上増加により54億38百万円（前年同四半期比8.3%増）

【情報・サービス分野】（医療情報、設備、医療環境等により構成）

医療ガス設備工事等の売上増加により8億3百万円（前年同四半期比31.1%増）

➡この結果、医療機器販売業の売上高は291億93百万円（前年同四半期比6.3%増）、セグメント利益は4億1百万円（前年同四半期比81.5%増）

セグメント情報②医療機器製造・販売業

主としてグループ開発製品である整形外科用インプラントを製造・販売しております。

売上高は1億95百万円（前年同四半期比2.4%増）、セグメント利益は43百万円（前年同四半期10.0%減）となりました。



セグメント情報③医療モール事業

主として賃料収入による売上高は36百万円（前年同四半期比0.3%減）、セグメント利益は4百万円（前年同四半期比10.7%減）となりました。



中期経営計画について

➤ 3力年の中期経営計画基本方針 ※平成31年（2019年）5月期を初年度とする

1.	継続可能な収益力の向上
2.	将来を見据えた新たな収益源の創出
3.	グループ経営管理機能の強化
4.	グループ価値の向上

➤ 本計画最終年度（2021年5月期）の主要業績目標

1.	連結売上高	60,500百万円
2.	連結営業利益	530百万円
3.	連結経常利益	600百万円

平成31年（2019年）5月期 連結業績予想

連結売上高	59,548百万円
連結営業利益	307百万円
連結経常利益	364百万円
親会社に帰属する当期純利益	200百万円

当社グループは平成29年(2017年)12月に持株会社体制に移行し、平成30年(2018年)6月には、グループの事業会社3社すべてを当社の直接の子会社とする新体制をスタートさせました。これにより、営業面でのグループ間の連携を強化するとともに、業務効率の改善、およびガバナンス体制の強化を図ることで、地域市場における競争力の強化を実現させてまいります。

配当政策

当社の利益配分は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定かつ継続的な配当を実施することを基本方針とし、業績等を勘案して利益還元を図ってまいります。配当水準として基本的に連結配当性向30%を基準としております。

当社における剰余金の配当は、年1回（期末配当）を基本方針とし、期末配当の決議機関は株主総会としております。
平成31年（2019年）5月期の配当は、業績を勘案しながら検討する予定ですが、現時点では期末配当として1株当たり24円を計画しております。

株主優待制度

〔対象となる株主様〕

毎年5月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1単位（100株）以上を保有する株主の皆様を対象に、年1回（株主総会後8月下旬）、株主優待を実施いたします。

〔優待の内容〕

保有株式数および継続保有期間に応じて優待品を贈呈いたします。
（当社オリジナルクオカード）

	1年未満	1年以上3年未満 ※1,3	3年以上 ※2,3
100～999株	500円相当	1,000円相当	1,500円相当
1,000～1,999株	1,000円相当	2,000円相当	3,000円相当
2,000株以上	1,500円相当	3,000円相当	4,500円相当

- ※1. 継続保有期間の「1年以上」とは、毎年5月31日現在の株主名簿に、同一株主番号にて連続して2回以上記載または記録されることとします。
- ※2. 継続保有期間の「3年以上」とは、毎年5月31日現在の株主名簿に、同一株主番号にて連続して4回以上記載または記録されることとします。
- ※3. 1年以上継続保有された株主様へのクオカード贈呈額は、当年5月31日の保有株式数を基準といたします。

〔株主優待の適用時期〕

継続保有期間の判定は、平成30年（2018年）5月31日を起算日とさせていただきます。

- ※証券会社の貸株サービスをご利用の株主さま
株主優待の対象外れる場合がございますので、詳しくは、ご利用の証券会社にお尋ねください。

働き方改革への取り組み

経営理念『地域のヘルスケアに貢献する』を実践するためには、当社グループの社員もまた健康で生き生きと働くことができる職場環境を創造することも、当社の経営課題の一つと考えております。事業会社における取り組みをご紹介します。

～社員が心身ともに元気で働ける会社を目指します～

健康宣言書

477

1. 定期健診を全社員が受診します
2. 定期健診後の治療・保健指導を推奨します
3. **わが社の健康プラン** を実行します

◆ 喫煙者の引下げ・受動喫煙防止に取組みます

- ① 午前9時～10時／13時～14時(2時間の社内禁煙を実施します。
- ② 商品を積載している社有車禁煙を実施します。
- ③ 禁煙外来受診の補助を実施します。(補助対象：卒煙者)

◆ 運動不足解消に取組みます。

事業所『デリーエクササイズ 階段のぼり・ウォーキング』を実施します。

山下医科器械株式会社
代表取締役 山下 尚登

 全国健康保険協会 福岡支部
協会けんぽ

2018.9.7

全員が健康診断を受診できるよう配慮したり、卒煙対策や運動不足解消へ社員一丸となって取り組むとともに、メンタルヘルス対策の強化や労働安全衛生の向上等にも力を入れています。

また、社員のワークライフバランスにも考慮し、業務改善を通して残業の削減にも取り組んでいます。

この他、社員が周囲に気兼ねなく有給休暇を取得できるよう、3日間連続で取得できるリフレッシュ休暇制度を設けています。

ダイバーシティ推進等への取り組み

当社グループでは、女性が働きやすい職場環境の創造や多様性に着目した支援活動を行っています。



当社グループの山下医科器械(株)では、女性活躍推進に関する優れた取り組みを行う企業に与えられる『えるぼし』認定の最高位3段目を厚生労働大臣より認定いただきました。

この他、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療を啓蒙する運動「ピンクリボン運動」の支援や、障がい者の新しい雇用開発やスポーツ振興を行う団体「シーズアスリート」を応援しています。

「将来見通し」に関する注意事項

当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、歴史的事実以外のものは一定の前提下で作成された見通しや戦略であり、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれており、様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新する義務も方針も有しておりません。



【問い合わせ先】

ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社
経営管理部

TEL : 092-726-8202 FAX : 092-726-8212